



●政策問題●

● 5月例会 日時：5月16日(土) 14:00~17:00 場所
三菱総研(タイムライフビル)会議室 出席者：12名
講演者およびテーマ

1. 福島康人(防衛研修所)“政策科学概説”特集号のため、政策科学の役割と課題を説明した。
2. 片山隆仁(航空自衛隊)“政策科学における価値の問題”昨春秋、筑波大で開かれた国際価値会議の紹介をもとに、価値の適用範囲と使われ方の2元的な見方を報告した。
3. 湊 晋平(武田薬品)“政策科学展開の場としての未来予測”未来予測の手法の概要を説明し、特に社会環境の予測を中心にこれと経済・政治・科学技術の各環境と関連づける予測が主力となりつつあることを述べた。

4. 柴田祐作(日立製作所)“政策科学の一手法—S I N P Lについて”春の学会で報告したS I N P Lのエネルギー問題についての適用例を示した。

● 6月例会 日時：6月20日(土) 14:00~17:00 場所
三菱総研(タイムライフビル)会議室 出席者：16名

編集後記▶冷夏予想が一転して猛暑となった変則的な夏でしたが、朝夕はぐっと涼しくなり、スポーツの秋、読書の秋、そして食欲の秋の到来を感じさせます。そしてぜひ実りの秋としたいものです。

▶本特集は「政策科学の展開と手法」と題し、政策科学の最近の話題について政策問題研究部会のメンバーの方々を中心にまとめていただきました。政策科学という大きな対象を1回の特集で総括することはむずかしく、OR誌も本号はほとんどが特集記事という変則的な編集と

講演者およびテーマ

1. 末内 潔(三菱電機)、三ヶ尻昭(電々公社)、荻野正浩(電々公社)、齊藤 昂(防衛庁)
“政策科学における新しい考え方(Y.ドロブ博士)”昨年12月のドロブ博士の講演会のテープをほとんど完全に復元し、逐語訳→意識のステップをたどった。この時同氏が提唱した新しい概念について討論した。
2. 福島康人(防衛研修所)、縣公一郎(早稲田大学)
“政策科学文献の総説” Policy Sciencesおよび Policy Analysis を過去5~10年にさかのぼって全論文を査読し、テーマの分類分析を通じて政策科学研究の傾向と重点を分析した。

●経営コンサルタント●

●第15回 日時：6月6日(土) 14:00~17:00 場所：
東京都勤労福祉会館

内容：前月に引つづき「インプット志向の古典孫子の兵法とこれからの経営のOR」を話しあいました。「孫子」なる兵書が書かれてからすでに2000年あまりがたちました。そんなに古いものなのに現在日本で年に数万部が売れるとか、そして優秀大企業のトップの方たちのなかに「孫子」の愛好者がきわめて多く、しかもその数を増しつつある由です。「孫子」は老子の影響をかなり多く受けており哲学的な面もありますが、かなりドライな5900字の本です。そこでは将軍(マネージャー)と情報プロセスが特に重視されております。

なりました。

▶新編集体制となって2号目。全力投球のつもりですが、未だギクジャクと肩に力が入りすぎている感が否めません。徐々に皆様方に満足されるようなOR誌に育てていきたいと思ひます。編集に関するご意見がございましたらば、編集委員会までお知らせください。(M)

〔訂正〕前号の支部総会報告のタイトルが昭和55年度となっておりますが、昭和56年度の誤りです。ここに不手際のお詫びかたがた、訂正させていただきます。

オペレーションズ・リサーチ

昭和56年9月号 第26巻(新シリーズ第6巻) 9号 通巻249号

代表者 松田 武彦

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル
(電話 03-815-3351~2) ☎ 113

編集人 小林 竜一

発売所 株式会社 日科技連出版社
東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 ☎ 151

本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ

定価 850円(郵送料含)年間予約購読料 9800円(郵送料含)

本誌への広告お申し込みは明報社(571-2548)、日経弘報社(563-2241)へ